

会議顚末書（要旨）

								記録者	仲村 堯之				
供覧	会長		部長		次長		課長		補佐		係長		G員
件 名		令和8年度 第2回龍ヶ崎市地域公共交通協議会											
年 月 日		令和8年6月26日（金）											
時 間		午前10時00分から午前11時45分まで											
場 所		龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室											
出席者		【出席】16名（随行：3名） 柿本委員（代理：岡野氏）、伊藤委員（代理：菊地氏 随行：中泉氏）、見澤委員（代理：菊地氏）、古賀委員、池田委員、室田委員（随行：渡邊氏、富田氏）、廣瀬委員（代理：野村氏）、中島委員、野澤委員、小菅委員、板谷委員、上野委員、都川委員、福田委員、橘原委員、佐藤委員 【事務局】 都市整備部 廣田次長 都市計画課 秋山課長、小山室長、忝本主事、記録者 【傍聴】4人											
会議内容 【会議次第】		1. 開会 2. 議事 3. その他 4. 閉会											
内 容 (主な意見)		【事務局】 1. 開会 ○会議資料等の確認。 ○委嘱委員の紹介。 ○定数の過半数出席により、本会議が成立した旨を報告。 （龍ヶ崎市地域公共交通協議会設置規程による。） ○本日の議事録署名人は、公募市民の都川委員と布川交通株式会社の小菅委員を指名。 2. 議事 【萩原市長】 会議次第に従い議事の進行をしてまいりますので、よろしくお願いします。											

	それでは協議事項（１）『会長・副会長の選任について』、事務局から説明をお願いします。 【事務局】 ○資料に基づき説明 ・次第 協議事項（１）会長・副会長の選任について ・別紙１ 龍ヶ崎市地域公共交通協議会会則 ・別紙２ 龍ヶ崎市地域公共交通協議会委員名簿（令和８年６月１日時点） 【野澤委員】 会長・副会長の選任について事務局案はありますでしょうか。 【萩原市長】 事務局案はあるかのご意見がありました。事務局いかがでしょうか。 【事務局】 会長につきましては、長年にわたり当協議会の会長を務めていただいている流通経済大学の板谷委員に引き続きお願いしたいと考えております。 また、副会長につきましても、引き続き龍ヶ崎市商工会事務局長である佐藤委員にお願いしたいと考えております。 【萩原市長】 ただいまの提案について、ご意見はございますでしょうか。 ～～異議なしの声～～ 【萩原市長】 ありがとうございます。異議なしの声多数と認め、会長につきましては、板谷委員、副会長につきましては、佐藤委員を選任することで決定とさせていただきます。 【事務局】 萩原市長、ありがとうございます。それでは、板谷会長、会長席へのご移動をお願いいたします。また、萩原市長におかれましては、公務のため、ここで退席させていただきます。 【板谷会長】 改めまして、会長を務めさせていただきます流通経済大学 板谷です。引き続き、闊達な議論が行われるよう努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、協議事項（２）『龍ヶ崎市地域公共交通計画の事業評価
--	--

について』事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

○資料に基づき説明

・次第 協議事項（２）龍ヶ崎市地域公共交通計画の事業評価について

・別紙３ 龍ヶ崎市地域公共交通計画における計画目標の達成状況

・別紙４ 龍ヶ崎市地域公共交通計画に位置付けた事業の実施状況

【板谷会長】

ただいまの説明について、ご質問等ございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。

確認にはなりますが、ご説明いただいた評価結果については、数値目標が達成できなかったからといって何か罰則があるわけではなく、必ず見直しをしなければいけないというものでもないということ、あくまで今後のためのデータ・評価結果として活用していくという趣旨でよろしいでしょうか。

またそのような観点からすると、別紙４「龍ヶ崎市地域公共交通計画に位置付けた事業の実施状況」にあるように、見直しが必要という評価としては、地域公共交通計画を策定してからそれほど時間がかかっていないということもありますが、大きな見直しはせずに引き続きこの計画に基づいて、取組を進めていきたいという趣旨であるという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

そういった認識で間違いございません。

【板谷会長】

ありがとうございます。このような内容ですので、これを踏まえて疑問に思われた点、改善した方が良くと思われる点などありましたらご意見ををお願いいたします。

【上野委員】

ノーマイカーデーの推進に関しては、強化月間を設けたということで大きな取組であると感じます。その中で、実際の参加率がどの程度だったのか、またそれを踏まえて今後どうしていくのかといった考えがあれば教えてください。

【事務局】

今回は都市計画課が所属している都市整備部４課で強化月間を実施いたしました。結果としては70%の参加率があった課がある一方で、低いところでは4%といった課もありました。

各職員がどこに住んでいるか、またその付近にこういった交通手段があるかといったところもありますが、取組に対する動機付けも必要という意見もありましたので、こうした意見も踏まえてまた検討していければと考えております。

【上野委員】

なかなか急に意識は変わっていかないと思いますので、地道に進めていただければと思います。

もう一点、令和7年4月にコミュニティバス運行計画が見直されました。それに関して今後の検討課題の一つになるかと思いますが、長山地区では循環ルートの内回り・外回りが同じような時間に運行しているため、乗り間違えて目的地へ行けなくなってしまうといった現状があります。運行事業者も含めて、今後検討していただければと思います。

【事務局】

循環ルートの運行に関しては、市に対して同様の意見をいただいたこともあります。その他の意見として、例えば長山地区に循環ルートが乗り入れたことによって他の地区の方が遠回りになってしまったといったような様々なご意見をいただいています。

また運行ルート等を見直すとなった際には、こういった様々なご意見を踏まえながら検討していければと考えています。

【板谷会長】

個別具体的なご指摘をどのように受け止めていくかが大変重要で、そういったご要望をいただいて、公共交通を少しずつ変えていくことで便利になるといったところもありますので、事務局あるいは我々も含めて何かあれば積極的にご意見をいただいて、検討していきたいと思っています。

【福田委員】

先ほどの循環ルートの乗り間違いに関して、サプラ停留所には注意喚起の案内が掲示されています。他の地区や停留所にそのような掲示があるか分かりませんが、そうしたところから周知を図っていくというのはいかがでしょうか。

【事務局】

ご意見いただきましたように、車両前面や側面の表示に注意いただくようにとの注意喚起を掲示していますが、サプラのほか、長山地区停留所にも掲示しています。

一方で、そういった掲示がどこまで利用者に届くかというところもありますので、繰り返しにはなりますが、次回以降の見直しの際の課題として受け止めさせていただきたいと思っています。

【福田委員】

ノーマイカーデーの取組については、移動手段が制限されることで出勤が負担になってしまう可能性もあるので、あまり無理や強制をしなくてもよいのではないかと思います。

【板谷会長】

ご意見として承ります。

他の市町村でも様々な取組が行われていますが、強制しているような事例はないかと思います。とはいえ継続的に取り組んでいただくことで、意識が変わり、公共交通でも通勤可能だということになると、今後役立つこともあるでしょうし、市役所は事業所としての規模も大きく、その効果も大きくなると思われます。ぜひよろしくお願いいたします。

【池田委員】

「コミュニティバスの各種運賃割引制度の継続及び周知PR」に関する事業評価について、令和7年4月の再編によって様々な割引メニューは整理されるものの、基本運賃が見直されたので安価にご利用いただけますという説明をしてきたかと思いますので、そうした流れを踏まえると△という評価に疑問を感じます。

また、各種割引制度実施の可能性を模索していくという記載がある中で、その下段「新たな運賃割引制度の検討」という項目には、まずは基本運賃100円による運用を軸にといった記載もあり、少し矛盾してしまうのではないかと思います。

【事務局】

元々の基本運賃がある中で、さらに割引メニューを実施していくという前提で評価してしまっておりましたが、ご意見いただきましたように、基本運賃を見直したことで、各種割引メニューを整理したというこれまでの説明もありますので、こういった整理をさせていただけるのであれば、△を○に修正させていただきたいと思います。

また、こうした修正を加えることで、下段の記載とも整理がつくというように考えますがいかがでしょうか。

【板谷会長】

「コミュニティバスの各種運賃割引制度の継続及び周知PR」と「新たな運賃割引制度の検討」のいずれも△から○に修正するという認識でしょうか。

【事務局】

「新たな運賃割引制度」という事業名であることを踏まえると、下段は修正せず、上段のみ○にさせていただくのが適切かと考えます。

【板谷会長】

承知しました。ご説明の内容に皆様ご同意いただければ、そのように修正するということにしたいと思いますがよろしいでしょうか。

～～異議なしの声～～

【板谷会長】

ありがとうございます。では「コミュニティバスの各種運賃割引制度の継続及び周知PR」のみ○に修正といたします。

その他ご意見はよろしいでしょうか。もしないようでしたら、先ほどの修正を行った上で、その他は資料のとおり承認とさせていただきますがいかがでしょうか。

～～異議なしの声～～

【板谷会長】

ありがとうございます。

では今申し上げたとおりの内容で承認とさせていただきます。

続きまして、協議事項（３）『龍ヶ崎市乗合タクシー「龍タク」の運行計画について』事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

○資料に基づき説明

・次第 協議事項（３）龍ヶ崎市乗合タクシー「龍タク」の運行計画について

・別紙５ 龍ヶ崎市地域公共交通計画 別紙（案）

【板谷会長】

ただいまの説明について、ご質問等ございますでしょうか。

こちらは乗合タクシーの運行に関する国補助金を継続して活用していくため、こうした計画を作成・提出するということについて問題がないかご確認いただくものになっています。

ご質問等はないようでしたら、協議事項（３）については、資料のとおり承認としてよろしいでしょうか。

～～異議なしの声～～

【板谷会長】

異議なしとのことでございますので、協議事項（３）については、資料のとおり承認といたします。

続きまして、報告事項（１）『龍ヶ崎市地域公共交通協議会分科会の協議の状況について』事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

○資料に基づき説明

- ・次第 報告事項（１）龍ヶ崎市地域公共交通協議会分科会の協議の状況について
- ・別紙６ 令和８年度第２回龍ヶ崎市地域公共交通協議会分科会資料一式
- ・別紙７ 関東鉄道竜ヶ崎線の今後の在り方の検討に関するスケジュール案
- ・当日資料 竜ヶ崎線の概況（※説明 室田委員）

【板谷会長】

ただいまの説明について、ご質問等ございますでしょうか。

【橘原委員】

関東鉄道竜ヶ崎線は本市にとって大変重要な公共交通機関であり、今後の方向性につきましては、事務局から説明があったように、本協議会と分科会での協議を進めています。

クロスセクター効果分析等調査などの内容についても、本協議会や分科会で議論いただくことになろうかと思います。

そして市民の皆様、そして龍ヶ崎市にとって最も望ましい、良い方向性を導き出せるように取り組んでいきたいと考えています。

【板谷会長】

今後のスケジュールについては、提示してほしいといったご意見が分科会の中であったことを踏まえて作成いただいたものと認識しています。どのような時期にどういった議論をするかというのはある程度明示していただきたいという希望もありましたので、大変ありがたく感じています。

私の希望としては、ぜひ９月補正予算も活用していくスケジュールで前向きに進めていただければありがたいと思っています。

これは分科会を設置する前にも話させていただいた内容になりますが、存続ありきでも廃止ありきでもない、様々な選択肢を検討して龍ヶ崎市にとって最もよい方向性を導き出したいということで議論を進めています。そのためには正確なデータ、それから利用者や市民の方々のご意向といったものをできるだけ正確に把握した上で、それらの事実を基にして議論をしていかないと、良い成果にならないということがありますので、ぜひ調査は早め実施いただければありがたいとお願いしていたところです。

予算についてご理解をいただけると、早めに調査をすることができると、交通関連以外のところも含めた影響・効果といったところの議論ができるということになります。

２年以内で方向性を決めなければいけないということで、かなり短い期間で決めなければいけないというのが率直な感想ではありますが、そうしたスケジュール感も少し注意していただけるとありがたい

と思います。

もう一点、先ほど関東鉄道様から輸送量についてのご説明をいただきました。

このうち、輸送密度というのが、特に鉄道がその役割を果たしているかどうかということを客観的に判断するために大変重要な指標となっております。

40 年ほど前に、当時の国鉄を民営化する少し前の段階で、全国に赤字のローカル線が多くあることから、必要に応じてバス転換できるといった法律を国が作りました。特定地方交通線というのを設定した時代で、バスに転換するのが相当である、その方が効率が良いという判断ができる基準として言われたのが、輸送量 2,000 人という数字でした。

一方で、2,000 人を超えている場合は鉄道とバスのどちらがよいとは判断が難しいということになります。要するに、黒字で運行できるかどうかは別として、バスに転換した方が効率的かどうかについて判断が難しいということです。

ここで竜ヶ崎線の現状を踏まえると、バスに転換した場合に赤字が少なくなって、効率的な経営ができるのかということと必ずしもそうではないというのが今の状況であるということを考えますと、どちらが良いか現状で判断できないというのが私の意見です。

そのため、実際にこれから竜ヶ崎線をどのようにしていきたいかということについて、市議会議員の皆さんなども含めて、市としてどのようにしていきたいかというところが 1 つのポイントになるかと思っています。それから、住民の意見としてはどうなのかということも非常に重要かと思っております。

なるべく維持したいという気持ちでおりますが、議論を重ねて一番良い選択肢はこれであるということを、分科会の中で議論を重ね、本協議会に報告を行っていくような形で議論を進めていきたいということで、現状進めているところです。

また、提供いただいた資料を見ると、昨年度の通学定期の利用者は過去 16 年の中で最も多いようです。通学利用は割引率が高く、あまり収益につながらないため事業者からすると嬉しくない数字かもしれませんが、市内から市外に出る場合と、市外から市内に来ていただく場合の両方があるにしても、極めて重要な役割を果たしていて、近年の利用状況が率直にそれを示しているのだらうと思っています。

こうした状況も考慮して、分科会の方で協議していかないといけませんし、仮に竜ヶ崎線を廃止して、バス転換をするということになりますと、こうした通学の方々にとっての交通手段をきちんと確保しなければいけないということになりますので、こうした観点も非常に重要です。

そして、特に公共交通の議論では、高齢者対策といったことが重視されがちなのですが、一番必要としているのは中学生高校生の世代で

あると私は思っています。

そういう方々が、車は使えないが自分の意思で行動したい・移動したいというように考えたときに、公共交通が便利かどうかというのは、生活の満足度を図る上で大変重要な位置付けになりますので、こうしたことも含めて議論をしていきたいと思っています。

また率直に申し上げて、関東鉄道様には多くの赤字が出ている中で路線を維持していただいております、心から感謝申し上げたいと思っています。ただ、赤字がこれ以上膨らむと会社経営への影響があるということで、今般のようなご提案をいただいているところです。

これだけの利用者がある以上、代替手段なしで廃止といった選択は有り得ないでしょうし、バスに転換して赤字が出た場合には、市側にもご負担いただかないといけない可能性が高いと思っています。

こういった中で、市としてもこういった事業を実際に進めていくべきかどうかについてもご議論いただきつつ、分科会での議論や各種事務手続きを進めていただけるとありがたいということで、こちらから1つお願いしたいと思っています。

この件に関しては報告事項ですので、特に承認決議をするということではありません。ご意見なければ次に進めていきたいと思っています。

その他、ご意見・ご質問等よろしいでしょうか。

～～特に意見なし～～

では続きまして、報告事項（２）『コミュニティバス・AI オンデマンド交通等の利用実績について』事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

○資料に基づき説明

・次第 報告事項（３）コミュニティバス・AI オンデマンド交通等の利用実績について

- ・別紙８ 令和７年度龍ヶ崎市コミュニティバス利用実績
- ・別紙９ 令和７年度龍ヶ崎市乗合タクシー「龍タク」利用実績
- ・別紙10 令和７年度龍ヶ崎市 AI オンデマンド交通「龍ヶ崎のるーと」利用実績

【板谷会長】

ただいまの説明について、ご質問等ございますでしょうか。

【上野委員】

説明の内容として、令和６年度実績と比較すると令和７年度は利用者数が減少しているものの、令和８年度の２か月を見ると増加傾向にあるということだったかと思っています。

その中で、基本的に利用者が増えれば相対的なコストも下がっていくものと思います。PRも様々行われていると思いますが、利用者の年齢層を見ると、やはり高齢者が多く、今後も増加させていければよいのかと思います。

そのためにも、各コミュニティセンターでの高齢者の集まる場での説明といった取組のほかに、ケアマネジャーが置かれている施設との連携ということで、ケアマネジャーに使い方をPRしていくといった取組を行ってはいかがでしょうか。

【事務局】

公共交通利用者のターゲットとしては、ご意見のように高齢者の方が多くなろうかと思っています。

まずそうした方々への呼びかけとして、主に高齢の市民の方を対象にした長寿大学という行事が本市文化会館で開催されています。その際にお時間をいただいて、乗合タクシーやAI オンデマンド交通の利用方法などを説明させていただいた経緯があります。

長寿大学については、毎年継続的に参加される方が多いということもありますので、また状況を見ながら取り組んでいければと考えています。

また、乗合タクシーのご登録につきましては、利用されるご本人ではなくケアマネジャーが代理で申請されるという状況も度々見受けられますので、そういった施設を通じた周知についても、一つの取組として今後実施できればと思います。

【板谷会長】

利用者が増えても収支が良くなるとは限らない、持ち出しが増えてしまうということもあるかと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

【事務局】

乗合タクシーにつきましては、利用が増えるほど運行経費も増えていくといった仕組みになっています。

一方で、コミュニティバスとAI オンデマンド交通につきましては、年間で運行経費が定まっていますので、利用が増えれば運賃収入も増加し、結果として市の負担が抑えられるということにつながります。

いずれにしても、乗合タクシーはご自宅まで安価でお迎えに行けるというセーフティネット的な役割もありますので、引き続き周知を図っていければと考えています。

【板谷会長】

利用者が大きく増加することで新たな懸念が出るかもしれませんが、まずは利用していただきたいというのが本協議会に参加されている皆さんの同じ思いかと思っています。

引き続き、様々な機会で認識を深めていただけるような活動を行っていただくようお願いしたいと思います。

【福田委員】

キャンセル率は一般的に見て高い方なのでしょうか。

【事務局】

例えば予約を入れていただいた後で、予定が変わってしまったという時にキャンセルをされたら1件のキャンセルという扱いになります。

また、実際お迎えに行った時に利用者がいない、いわゆるノーショーというキャンセルがありますが、先ほどご説明したキャンセル件数については、予定が変わってしまった場合のキャンセル処理をした数となっています。

【板谷会長】

キャンセルが多いか少ないかと判断するのは難しいかと思えます。またキャンセル数は0にすることが望ましいと思いますが、それも現状難しいかと思えますので、なるべく少なくなるように運行上の努力をしていくということになるかと思えます。

利用実績全体としては良い内容のご報告をいただけたと思っておりますが、引き続きデータや等を注視していただきながら、改善できることがあればぜひ取り組んでいただきたいと思います。

【上野委員】

E V車両の導入について、税制上のメリットや国・県としての施策などが何かあれば教えていただけますでしょうか。

【事務局】

市のスケジュールの観点から申し上げますと、次回再編は概ね令和12年4月を目途にしていますので、それに合わせて車両を更新する際に、こういった車両が良いかというところを検討させていただきたいと考えています。

また、導入に当たっては国の補助制度も活用できるものと認識しています。

【板谷会長】

E Vバスについては、他の自治体では様々な課題があったという報道もあり、ご心配されている方もいらっしゃるのではと思いますが、引き続き他の自治体等の導入事例や支援制度などもご検討いただいて、導入の可否についてご検討いただければと思います。

その他、ご質問等よろしいでしょうか。

	では、以上で、本日の協議事項・報告事項は終了となります。 その他として、協議会全般に関することで何かご意見やご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。 では事務局から何か連絡事項などありましたらお願いいたします。 3. その他 【事務局】 ・報酬支払い 7月10日（金）予定 ・次回開催予定等のご案内 未定 ・報酬支払いの有無の確認 【板谷会長】 では、以上をもちまして本日の会議を閉会させていただきます。長時間にわたるご審議ありがとうございました。 4. 閉会
令和 年 月 日 議事録署名人 _____ 令和 年 月 日 議事録署名人 _____	